

図書館だより



no.221

2019(令和元)年 11月1日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Te1 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



見学会開催!

◦ 福島県立図書館 見学会

日時 : 11月3日(日)
15時30分~16時20分
※要予約(カウンター、電話)
高校生以上、先着20名。

◦ 長田弘文庫見学会

日時 : 11月10日(日)
11時20分~12時
※要予約(カウンター、電話、FAX)
必要事項(氏名、電話番号、お住まいの市町村)をご記入の上、お申込ください。中学生以上、先着10名。

令和元年度第5回

ふくしまを知る連続講座

福島の偉人 三浦謹之助博士

~福島に残した足跡と周辺の人々~

伊達市保原町出身の医学者、三浦謹之助博士。明治天皇や大正天皇の医師を務めた福島の偉人の生涯や功績などをわかりやすく解説します。

日時 : 11月23日(土) 14時~15時30分

場所 : 県立図書館 第一研修室

講師 : 高橋信一氏

(伊達市教育部生涯学習課学芸員)

(入場無料・予約不要)

クリスマスのおはなしかい

みんないっしょに世界のことほでおはなしかい



日時 : 12月7日(土)

11時~11時30分

場所 : 県立図書館 第一研修室

英語とポルトガル語のおはなしかいです。

※申し込みが必要です。

朗読会 〜最終公演〜

日時 : 12月8日(日) 14時~

場所 : 県立図書館 講堂

出演 : (元福島テレビアナウンサー)

原國雄さん、原孝江さん、

高橋雄一さん、柿崎順子さん、

(ラジオ福島アナウンサー)

菅原美智子さん

(元ラジオ福島アナウンサー)

渡邊美香さん

演目 : 「三屋清左衛門残日録」他

◆休館のお知らせ◆

11月14(木)~17日(月)の期間、高圧機器等更新工事のため休館させていただきます。

なお、11月5日(火)・7日(木)は開館いたします。

貸出期間は以下のように変更いたします。

貸出日	返却日
10月31日(木)	11月21日(木)
11月1日(金)	11月22日(金)
11月2日(土)	11月23日(土)
11月3日(日)	11月24日(日)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『国家を食べる』 松本 仁一／著 新潮社
302.27/マ 197

新聞社の特派員だった著者が、世界の紛争地帯取材中に会った食べものが紹介されています。イラクの羊肉、ソマリアのパパイヤ、エジプトのモロヘイヤ、ベラルーシのりんご、銃で有名なカラシニコフ氏の冷凍ピロシキ…。あまりなじみのないものばかりでも、地元の人自慢の料理は美味しそうです。が、各章の最後に、その後連絡が取れない人物が多いことがわかります。安全な日常生活が保障されない社会、国家とは何か？料理を味わいながら、考えさせられる1冊です。

『なぜ本を踏んではいけないのか 人格読書法のすすめ』 齋藤 孝／著 草思社 019/サ 196/

本を踏むという行為にためらいを覚える人は多いと思います。それはなぜか。本には人格があるからだと言います。本には著者そのものが込められており、踏むことは著者の人格を踏みこむに等しい行為であると。そして本を読むことは、著者の人格の継承であり、その精神を自身の心身に刻み込むということ。大の読書家で人生を本と共に送ってきた著者が熱く語る「人格読書法」、その効用とは。古今東西の名著から最近のエンタテインメントまで、紹介されている本の数々も秋の読書の参考に。

『市場界限 那覇市第一牧志公設市場界限の人々』 橋本 倫史／著 本の雑誌社 672.199/ハ 195/

戦後の闇市から発生し、沖縄本土返還の年である1972年に立て替えられた沖縄県那覇市第一牧志公設市場。老朽化や防災の面から、2019年6月16日に現在の建物での営業を終了しました。昭和から平成まで、激動の時代を生き抜いてきた市場とその周りで商売を営む人々から聞き取った話は、沖縄のリアルな歴史そのものでした。3年後、新築オープンする市場は姿を変えています。エピソードが本として残ることで、再び市場の歴史がつながっていくと思います。

児童・児童図書研究

『岩石・宝石ビジュアル図鑑 理科が楽しくなる大自然のふしぎ』 産業技術総合研究所地質標本館／監修 学研プラス 2019.2 458/サ

地球は石で出来た星です。石と言っても千差万別、「食べられる石」「とけちゃう石」「水にうかぶ石」「燃える石」など、さまざまです。石はサイズや構成要素で分類が変わります。宝石に鉱物、岩石、砂、化石、それぞれの秘密や成り立ちを紹介。地球で石がどうやって生まれるのか、どの石がどのような性質を持っているのか、イラストと写真を交えてわかりやすく解説している、大人も子供も楽しめる一冊です。

雑誌・新聞

夏の厳しい暑さが急激に緩み、肌寒さを感じる気候になってきました。最近では夏から秋への大きな気温差により、「秋バテ」という言葉も聞かれるようになってきました。また、早くもインフルエンザの流行も始まっています。そこで今回は、「健康」を特集記事とした雑誌をご紹介します。

『栄養と料理』 Z596 / E2
第85巻11号, 2019.11月号
「血糖値が高い人の食事と運動」

『サンデー毎日』 Z051 / S18
第98巻第49号, 通巻5561号, 2019年10.6増大号
「健康寿命を10歳延ばす」
第98巻第50号, 通巻5562号, 2019年10.13号
「入浴健康法のすべて」
第98巻第52号, 通巻5564号, 2019年10.20号
「ココロとカラダを癒す『音楽療法』」

『週刊東洋経済』 Z330.5 / T4
第6886号, 2019.10.19号
「ビジネスに効く 最強の健康法」

地域

『震災絵日記』 朝倉 悠三／描 福島民報社
2019.5 LS369.31/A25/1

東日本大震災・原発事故を描き続けた風刺画です。平成23年5月から今年の3月まで、毎週日曜の『福島民報』に連載された410点をまとめたもの。筆者は教育者であり、県の美術界を牽引されてきた方であり、馬をテーマに多くの作品も描かれています。ご自身も南相馬で被災され、避難先で執筆を開始されたとあります。それだからこそ、怒りや悔しさ、いとおしさなどが胸に迫ります。この9月20日に79歳で逝去。第二弾が見られないのはさびしい限りです。

『RUGBY 日本代表に捧ぐ』 大野 均／著 廣済堂出版 2019.7 LA783.4/01/1

大野均選手は、福島県郡山市の出身で、日本大学工学部でラグビーを始めた選手です。本書が執筆された2019年6月現在、日本代表選手として出場した試合数は98と歴代最多を誇り、2007年、2011年、2015年の3度のワールドカップにも出場しています。本書では、日本代表が初の3勝を上げた2015年のワールドカップをはじめ、これまでの試合や自身の経験を振り返ります。そして、2019年の今年、日本で開催されるワールドカップに向け、コーチや選手を紹介し、エールを送っています。“ジャパン”の活躍の様子を、思い出しながら読んでみてはいかがでしょうか。